

プレゼンテーション | 学生 → 企業

チーム名 ヘルシー

提案 女性にアピールする環境づくり

現状の問題点として①ジムの法人会員利用者が少ない ②オフィス内の雰囲気が高い ③女性向け制度・環境の周知不足 ④食堂のメニューが平凡、と分析。良さの積極的発信が企業アピールにつながる。①出張ジムサービス ②アピールポイントの積極的発信 ③カラフルな壁紙、家具の設置 ④食堂にヘルシーメニューの導入(地元野菜のサラダビュッフェ)を提案した。

[参加学生]田中真佑香、田中千智、今井若菜



チーム名 昼寝(シエスタ)

提案 男性も満足する環境を整える

女性が気持ちよく働ける環境を実現するには、男性から女性への不平・不満を減らすことが重要と分析。男女平等に利用可能な施設として、仕事の効率アップにもつながる①仮眠室(しやすたなーむ)、②リラックスマーム(和みの場)の設置を提案した。またリケジョ向けには、エプソンの魅力を凝縮して発信するチラシを作成、合わせてSNSでの情報発信を提案した。

[参加学生]森下穂香、小島早貴、山田梨奈



女子学生向けにエプソンの魅力を凝縮したチラシ



ほっと一息の学生たち



堂々と自分たちの意見を発表し終えた学生たち。笑顔を変えながら、終始リラックスした雰囲気のプレゼンテーションになりました。何度も練習を重ねた成果を出し切りました。



付箋を使って問題点を整理。ストーリーを組み立てます

「ものづくり歴史館」でエプソンの歴史と発展を知る



オリエンテーション後に訪れたのが本社内の「ものづくり歴史館」。創業以来エプソンが開発・製造・販売してきた代表的な商品や貴重な歴史関連資料が展示されています。自分たちが生まれる前からのものづくりとその進化を、学生たちは興味深そうに見つめていました。

University

Company

PBLを終えて

工学部電気電子工学科
2年
田中千智さん

3人の長所を活かし、一つの提案にできたことに達成感を感じています。発表では声を大きく、わかりやすく心をかけました。企業の方々での発表は貴重な経験になりました。これからの就職活動に向けても、たくさんヒントをもらいました。

人事部
吉村由佳さん

学生目線からの発表・提案を楽しみ、聴き、大いに刺激を受けました。真剣にテーマに向き合っていたいただき感謝しています。現在、昨年のPBLで提案いただいたHP改訂を進めており、今年の提案も前向きに検討したいと考えています。

東京都市大学



工学系、文理複合系、文系学部を揃え、科学技術から児童教育までの幅広い領域を網羅する6学部18学科で、時代と社会の要請に応える教育を展開する。

セイコーエプソン



インクジェットプリンターやプロジェクター、ウェアラブル機器、ロボットなど「省・小・精の技術」をベースに、革新的製品を社会に送り出している。

女性がずっと働きたくなる
いま求められる
ものづくり企業を解明

「こんな会社に就職したい」と女子学生に思ってもらうためにいま、エプソンに必要なことは?

長野県諏訪市に本社を置く精密機器メーカー、セイコーエプソン(以下エプソン)。連結売上高1兆円を超えるグローバル企業です。「女子学生にエプソンの魅力を伝える」という課題に、東京都市大学的女子学生が挑みました。



「省エネ・小型化・高精度の技術」をベースに、革新的な製品・サービスを世に送り出しているエプソン。世の中になくはない会社になるために、さらなる飛躍を目指しています。一方、本社が長野県諏訪市にあること、また女性が働きやすい環境が整っているものの、「女子学生にその魅力がうまく伝わっていない」という問題を抱えており、「どうしたら女子学生にエプソンに就職したいと思ってもらえるのか」が今回の課題になりました。

オリエンテーション当日。学生たちは新宿に集合し、特急あぐさで上諏訪にあるエプソン本社に向かいました。参加者は3年生1名、2年生3名、1年生2名とフレッシュな顔ぶれです。初日のオリエンテーションでは、女性社員の割合、女性管理職の現状、女性社員の定着をはかるさまざまな施策などが説明されました。その後、同社のものづくりの歴史がわかる「ものづくり歴史館」の見学を経て、初日のワークショップが始まりました。事前課題で作成してきた「ライフチャート」をもとに、仕事に対する考え方や価値観を発表。お互いへの理解を深めるとともに、課題への取り組み方を共有しました。

2日目(5日目のワークショップ)は、東京都市大学「三子川夢キャンパス」で実施されました。2チームに分かれてアイデアを出す中で、一つのチームから出てきたのが、「女性社員への優遇が、男性社員には逆差別と感じられるのではないか」という視点。女性が気持ちよく働ける環境を作るためには、男性の不平不満を減らす必要があると考え、「男女平等に利用可能な環境を整備することで心の余裕が生まれ、意識改革が進む」というストーリーを考えました。もう1チームは、女性が興味のある「美と健康」に着目。長野県の企業であることを逆手に取り、自然環境やライフワークバランスの良さを伝えることでアピールできるのではと考え、提案に結びつけていきました。3日目には、エプソンの担当者を受けての中間発表が行われました。まだまだ完成にはほど遠い状態でしたが、社員からのアドバイスも参考にしながら、4日目・5日目はそれぞれが意見を出し合いながら提案内容を精査。いずれの回も時間内には終わらず、夕方まで会場に残って作業を進めました。

オリエンテーション | 企業 → 学生



企業単体の従業員数が12000人を超えるセイコーエプソン。エプソンでは経営理念の下にダイバーシティを尊重し、人事施策を推進しています。例えば、女性も男性も働きやすい環境を整えることで「プラチナなるみん」「えるぼし」「なでしこ銘柄」などにも認定されています。さらに、新卒採用では女性比率25%以上を目標として、採用活動を行っています。そこで今回出されたのが「女性がずっと働きたくなる、いま求められるものづくり企業であるためにエプソンに必要なことは？」という課題です。